



尾張旭ロータリークラブ

Weekly

「例会は親睦なり、深めよう親睦！」

・会長 井田 武憲
 ・幹事 桜井 雅博
 ・会報 占橋 裕志
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail: owariasahi@mtc.ki-globe.ne.jp
 URL: http://www.owariasahi-rc.jp/

ふれあい、思いやり、そして握手

本日 第2049回 2013年3月15日(金) No. 1939

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「我等の生業」

卓話担当者: 仲澤 昌容 君

卓話者: 愛知県立大学・名古屋造形大学非常勤講師

NPO法人やきもの文化と芸術振興協会

理事長 浅田 員由 様

演 題: 「瀬戸やきもの」

前 回 第2048回 2013年3月8日(金) 記 録

- 齊 唱: 「それこそ ロータリー」
- 出席者: 会員28名中22名出席 出席率71.42%
前々回補正出席率は2月22日分96.42%

会長あいさつ 井田 武憲



東日本大震災(平成23年3月11日)より約2年。犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表します。

さて、3月は識字率向上月間です。識字率向上は、1986年以来の国際ロータリーの強調事項で、ロータリーの6つの重点分野の一つ「基本的教育と識字率向上」にも掲げられています。「ロータリーの友3月号」に第2680地区・識字率向上のための3-Hプロジェクトの実践報告が掲載されています。主にCLEプログラムによる識字率向上活動です。(詳しくは3月号参照) このプロジェクトから

察せられることは「すべて習得目標言語で授業することによって成果が上がる」としています。つまり「日本語の読み書きを習得しようとするならば日本語で授業を受けることによって成果が上がる。」です。例を上げるなら英語も同じです。

聞くところによりますと、現在の名古屋市の小学校では、外国語活動の授業が実施され、3・4年生では年間4時間、5・6年生では週1時間です。また、市教育委員会から外国語活動アシスタントが派遣され、担任とのチームティーチング(T・T方式)で行われます。

子どもたちが英語や外国文化に親しむことをねらいとしています。ちなみに、その授業中は、児童とアシスタントは英語で会話するそうです。

この「識字率向上」は自国の「読み書き」のみを考えるのではなく、さらに、国際的視野に立った考え方を目指しているのではないのでしょうか。

幹事報告

・3/1 第12回(現・次期)理事役員会 於商工会館 井田会長以下14名出席。

識字率向上・OFDY月間

	3月22日(金)	3月29日(金)	4月 5日(金)	4月12日(金)
例会予定	卓話者: 木村玄次郎君 演 題: 「旭労災病院の現況と将来」	卓話担当者: 箕輪良孝 財務委員長 卓話者: 伊豆原職業・福岡社会奉仕・古橋エツ子新世代奉仕・飯田国際奉仕委員長 演 題: 「中間報告」	卓話担当者: 会員増強委員会 卓話者: 西尾輝久 会員増強副委員長 演 題: 「未定」	卓話者: 飯田 幸雄君 演 題: 「ロータリー あれこれ」
3分間スピーチ	富田 晃君	小柳 和之君	飯田 幸雄	加藤 勇夫

- ・3/7 地区社会奉仕委員長会議 於名鉄グラン
ドホテル 福岡社会奉仕委員長出席。
- ・本日の会合：第4回OFDY委員会
- ・次回の会合：なし
- ・例会変更のお知らせ：別紙。

ニコボックス

○今日の卓話、大野さん、楽しみです。

- 浅野 善吉君
○日々、あたたかくなってきました。春も近いで
すね。 桜井 雅博君
○春の陽気を迎えて。 木村玄次郎君
○春が来た、春が来た。でも花粉症にはつらい
です。 伊豆原浩二君
○春うらら 今朝 ひばりの初聞き 心も春や
春 古橋 裕志君
○春うらら、昨日、ゴルフ、トリを4回たたき
ました。 加藤 清久君
○申し訳ありません。本日早退いたします。
森井 晴生君

第4回OFDY委員会

日時 平成25年3月8日(金) 13:40~

場所 尾張旭市商工会館内 第四会議室

議題 1) 今後の活動について

申し送り事項として、今年度の児童合唱団、中学校合同発表会(今年は中止)、旭野高校吹奏楽演奏発表会の援助について、井田会長より説明があった。

名古屋経営短期大学については、どこに支援するか検討。

- ・45周年事業に「優勝旗」の作成を検討
- ・子供の「棒の手」教室の支援を検討

2) その他

今回の例会フォーラムを続けていけば、みんなの意識も高まり良い活動企画案が出てくると思う。(大野委員長 談)

また、事業継承ということで、OFDY委員会のメンバー選定について留意する必要がある。

卓話

「OFDY委員会として今後の活動例等について」

大野 良之

昨年の9月のOFDYクラブフォーラムより具体的な提案事項が各会員より交換留学生支援、OFDYの本来の目的の明確化を中心に

意見が各テーブルに寄せられた。



・志段味国際学校の支援

・本来の目的をもっと明確にすべき

・基金の成り立ちを考えたとき、

毎年やらなければならないので、ここ一番で使うようにしたい

・奉仕部門が提案するプロジェクトに助成すると3条にあるが、行われていない

・市民全体が知るOFDYにならないのか

・仕組みはよいが、良い案を出すように各奉仕委員会の活動も活発にしなければならない

・資金力に制限があるので、地域の青少年の育成に重点を絞って助成することが目標にしたかどうか

・援助を求める団体活動を募集して選考する

・市内の大学生の生活の援助に使用(特に短大生)

・若者の人材育成に使用(短期留学生の費用に使用)

・世界の学生、若者に限定、地元学生に奨学金を渡す

・市役所から若者の人材を紹介して、短期留学生の援助をする

・OFDYの本来の目的をもっと明確にすべき

・短期大学の留学生を通して、留学生の母国への援助

方法は第三者機関、じっくり育てる意味で10年単位で

・目的は教育、医療が中心とする



以上のように、意見が集約され、今後の活動に、繁栄されることが大切である。

(会員のアンケートより)